

	学校だより No. 7 青森市立佃小学校 令和4年9月29日発行	全校児童数464名 男子 228名 女子 236名
	◆教育目標◆ あかるく・かしこく・たくましく	

半年間の成長を見つめて ～前期終了です～

校長 山田 彰利

運動会に際して、リレーの選手になりたいと、腕振りや腿上げ、大股走りのなどの練習に一生懸命に取り組みました。タイム測定では自己最高を出して、見事選手になることができました。友達からも「速くなったね」と、称賛されていました。

はじめは、自分がうまくやること、失敗しないことを一番に考えていましたが、協力することが大事だと気づき、失敗した友達に「次がんばればいいよ」と前向きな温かい励ましを送ることができるようになりました。

苦手意識をもっていた教科の学習に対して、友達と確認し合ったり、質問することができるようになったりすることで「意外に簡単だなと思えるようになった」と振り返られるようになりました。苦手克服のやる気をもって取り組む姿勢に感心しています。

これらは、前期通知表の所見欄から抜粋したものです。（一部言葉遣い等変えてあります。）めあてをもち、そこに向かって努力する姿。壁をみんなで乗り越えることの尊さに気付いた姿。友達とともに取り組むことで苦手を克服していく姿。どれも子供たちが前期に見せたとても尊い成長の跡です。

9月30日をもって、令和4年度の前期が終了します。30日に配付する通知表には、こうしたお子さんの尊い姿を担当が記しています。前期97日の確かな日々の積み重ねの跡です。是非ご家庭でも話題にし、半年の成長を振り返る時間をもってください。

来週からは後期が始まります。後期始業式で子供たちにも話しますが、次の学年を見据えた半年間になります。半年後、どんな姿でありたいかを胸に描きながら、また、教職員一同地道に日々を積み重ねて参りたいと思います。



あったか言葉・ちくちく言葉

先日の参観デー、たくさんの保護者の方のご参観ありがとうございました。

4, 5時間目に行った「すくすく会議」では、相手を嫌に気持ちにさせない言葉遣いについて、保健委員会の発表や、スクールカウンセラー佐々木順子先生の講話などを基に考え、話し合いました。子供たちからはたくさんの建設的な意見が出されました。日々の実践につなげていけるよう、励ましていきたいと思えます。